

競技より

- ・2026年度公益財団法人日本バレーボール協会2人制ビーチバレーボール競技規則に則って行う。
- ・得点の合計が7の倍数でコートチェンジとなります。
- ・各試合前に、5分間の合同練習時間をとります。
- ・連続する試合は15分開けます。

《ユニフォーム》

- ・原則、ユニフォームは2人揃ったユニフォームとし、番号1・2を明示する。
- ・ユニフォームに1・2の明示がない場合、腕や足に見えるように書いて下さい。
- ・ユニフォームは雨等により、アンダーウェアが透けないものとします。

《試合運営について》

- ・予選リーグは21点1セットマッチ、23点打切とし、各リーグ1位は決勝トーナメントに進出します。
- ・予選リーグ及び決勝トーナメントの組み合わせについては、マッチスケジュールやトーナメント表を参考にして下さい。予選リーグは追い込み方式で行います。空いたコートに次の試合を行うため、アナウンスの指示に従って下さい。
- ・決勝トーナメント1回戦は、21点1セットマッチ、ノーキャップで行います。(2点差つくまで)決勝は3セットマッチで行います。
- ・監督が複数チームを兼任可能ですが、試合中、監督が他コートを行き来することはできませんのでご注意ください。次の試合であれば、別のペアの監督をすることは可能です。
- ・天候の悪化や、選手の健康状態から大会主催者側の判断で試合中止とする場合もあります。

審判より

(1) 使用球について 女子はモルテン、男子はミカサで行います。試合球は主催者で用意します。

(2) 補助役員について

- ・予選第1試合は、同じリーグの空きペアが行い、第2試合以降は負けペアで行ってください。
- ・得点1名とサーブ順の確認1名、主審は監督もしくは選手(責任を持って吹ける人)
- ・主審は電子ホイッスルで行います。
- ・副審と線審は、なしです。
- ・**必ず勝ったペア**が、記録とボールを本部に持ってきてください。
- ・決勝トーナメントは、第1試合は本部で指示したペアが審判を行います。その後は負けペアと監督が行います。
- ・予選リーグはマッチスケジュールの通りです。(3チームリーグのうち、空きペアと監督で行う。)

(3) ボールマークプロトコールについて

審判のラインジャッジ判定に納得できない場合、ラリー後5秒以内に、判定してもらいたいところを指さし、手で「C(チャレンジ)」を作ってください。主審は、指を指されたところに行き、ボールの跡を確認し、判定をして下さい。

1試合につき2回可能です。(成功した場合は、カウントが減らない。)ただし、選手がスイッチ(コート

チェンジ) やタイムアウト等の行動をしたときは、審判の判定に納得したということなので要求は認められません。

(4) コートサイドのコーチングは、監督登録されていない者は、基本的に禁止となります。監督不在でも試合を行うことができます。監督不在の場合は、試合中のタイムアウトは選手がとってください。

会場より

- (1) 道路にボールが出てしまった場合は、危険のため選手は取りに行かないでください。
- (2) トイレは屋外を使用し、屋内トイレは使用禁止とします。
- (3) 大会中に津波があった場合は公共放送の指示に従ってください。

総務より

(1) 領収書について

1ペア2,000円ですが、複数ペアが参加している学校は、領収書の名前および1校まとめてなのか本部に伝えて下さい。試合終了までにお渡しします。

(2) 選手以外の砂場への立ち入りは、本部より配布されたチームスタッフ証を付けたもののみを認めます。

(3) 写真撮影について

大会の写真及びビデオ撮影を行う場合は、大会本部で許可証をもらったもののみが撮影してください。三脚を使用して撮影する場合には、三脚にも許可証をつけてください。その際、学校名、撮影者名を記入してもらいます。チーム関係者、報道広報目的以外の撮影は禁止とします。大会本部で撮影した写真及び動画は、(一社)静岡県バレーボール協会広報用資料として使用させていただく事もありますので、使用を許可しない選手に関しては開会式終了後、第1試合開始までの間に本部まで申し出てください。

(4) 女子第1位のペアは、愛媛県開催のビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会の出場権を獲得します。男子第1位のペアは、大阪開催の全日本ビーチバレーボール高校男子選手権大会の出場権を獲得します。

(5) ペアがケガ等で全国大会等に出場できない場合は、大会結果を踏まえ上位ペアを推薦します。

(6) この後、9時15分から開会式、9時30分からゲーム開始とします。

(7) 8月上旬で普及活動の一環で地区トレセンを予定しています。